

令和元年度 第12回言語聴覚の日イベント報告

未来へつなぐ架け橋になります！！

● 一般社団法人 佐賀県言語聴覚士会

言語聴覚の日事業担当 **森本 邦子**
会長 **緒方 和則**

佐賀県言語聴覚士会では、9月8日に「言語聴覚の日in佐賀」のイベントを開催しました。テーマは「未来へつなぐ架け橋になります！！」とし、相談窓口の他に、初の試みとして、市民公開講座、ミニコンサートを開催しました。

今回の取り組みは、会場を商業施設からホールへ変更し、わざわざ訪れていただくためにはどのような広告活動が必要なのか？スタッフ一同知恵をしばって行ってきました。その為、専用のホームページを立ち上げ、地元の保育園や施設へもポスターやチラシを配りに出かけたり、facebookで経過を広報したりしてきました。また、佐賀テレビへ「テレビ宣伝隊」としてPRもしてきました。スタッフは、一致団結して取り組んでまいりましたが、皆様ご存知のとおり、開催のちょうど10日前の豪雨災害もあり、集まっていたか……正直不安でした。

当日は、総勢249名の方々にお越しいただき、盛会に開催することができました！！

相談窓口には、小児から成人の方まで様々なご相談があり、今後の支援につなげることができました。また、車で1時間以上かけてわざわざ来ていただいた方もおり、ま

だまだ支援につながっていない方がいることを痛感しました。また、言語聴覚士になりたいと考えている高校生の相談もありました。

市民公開講座では、午前中に志學館大学の飯干紀代子先生に「認知症の人と創る社会—今、自分と地域ができること—」、午後には子どもの発達支援を考えるSTの会代表の中川信子先生に「子どもの心とことばの育ち」と題しましてご講演いただきました。ご参加の方からは「聞こえるって本当に大事なだね」「コップの水の話が印象的でした」「自分が子育てする前に聞きたかった」など率直な感想が寄せられました。

今回日本言語聴覚士協会との共同開催としてイベントを行い、新しい令和の時代へつなげる架け橋の1歩を歩きました。今回の開催を糧に、今後とも啓発活動に励んでまいりたいと存じます。

最後に8月の豪雨、9月の台風などで被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。また、1日も早くこれまでの日常を取り戻すことができるようお祈り申し上げます。



中川先生による市民公開講座



言語聴覚の日 専用ホームページ